

令和2年2月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名： 令和元年度国際理解講座(会津若松市国際交流協会)
- 企画実施概要： ①実施内容
オリンピック・パラリンピックから、SDGsを考えるワークショップを実施。
- 【内容】
①オリンピッククイズ
②SDGsとは？
③オリンピックをSDGsの視点から考える。
③IVYの国際協力活動(ODA事業)の紹介
- ②対象者および参加人数
協会会員、学生(中学生以上)、一般市民 約15名

2 出張者氏名 阿部 真理子

3 依頼元／主催団体名 会津若松市国際交流協会

4 実施予定日時 令和2年2月24日 (月) 14:00-16:00

5 実施場所 会津若松市生涯学習総合センター(會津稽古堂)3階
(会津若松市栄町3-50)

6 実施報告

参加者は、中学生から一般市民まで幅広く、グループワークでも活発な意見交換が見られた。終了後、国際協力にかかりたいと思っていたので、今日のIVYのカンボジア・イラク・バングラデシュにおける活動の話は参考になったと参加した高校生が話してくれた。

＜アンケートから＞
・オリンピックを単にスポーツの祭典という見方だけでなく、持続可能性という視点で見ていくことで、オリンピックに対する見方が変わったように思う。
・難民について関心があったので、IVYの難民支援の話はタイムリーだった。

7 写真

	
冒頭、IVYのODA資金による活動について説明	グループごとに時期紹介。左手前が中学生の参加者

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年2月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「国際理解と国際交流の推進」に関する講演

企画実施概要: ①実施内容
・NGO相談員制度の紹介
・ODA事業の説明及びアクターの紹介
・幣団体事業(N連、JPF事業)の紹介
②参加人数 高校2年生 79名

2 出張者氏名 小笠原 直子

3 依頼元／主催団体名 主催 青森県立野辺地高等学校

4 実施予定日時 令和2年2月26日 (水) 15:15-16:05

5 実施場所 青森県立野辺地高等学校(青森県上北郡野辺地町)

6 実施報告
・日本の団体が海外で活動している話を実際に聞くことがなかったの
で、貴重な機会になった。
・ODA事業が自分達の税金で行われていると勉強はしていたが、今
日の講演を聞いてODAがどのように行われているかを知り、点と点を
繋げることができた。
・相手を尊重し、対話を重ねることは、相手が誰であっても大切にしな
なければならない点だなと感じた。

7 写真

	
キャリア教育の単元で実施されたため、自身の体験談を交えながら、国際協力、国際理解について話した。	NGO相談員制度の説明をする相談員。

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年3月2日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名 特定非営利活動法人
国際協力NGOセンター



NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名: HAPIC—HAPPINESS IDEA CONFERENCE
- 企画実施概要: ①企画内容: グローバル課題解決の最前線で活躍するスピーカー約40名による、最新動向ホット 이슈がわかる14のセッション、ブース展示、ネットワーキングレセプションを実施。
- ②対象者および参加人数: 国際協力関係者:
NGO/NPO、政府、企業、学生
全体約316名(スタッフ除く)、うちブース対応15名

2 出張者氏名 伊藤衆子、堀内葵

3 依頼元/主催団体名 特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター

4 実施予定日時 令和2年2月14日 (金) 9:00~17:30 (うち11:30~13:00、14:30~15:00対応)

5 実施場所 KFC Hall & Rooms(東京都墨田区横綱1-6-1)

6 実施報告

- ①イベント全体のアンケート:「多様なNGOの方々が一堂に会し、情報・意見交換ができる場として有益であった」「自団体だけでなく、業界のこと、世界の動向、そしてあらゆる課題に対して一生懸命に真摯に取り組む働く仲間に出会えた」
来年度も参加したいと回答した人が80%を超えた。
- ②相談者の声: 国際協力の様々なセクターの方を紹介いただき、自分のキャリアについて具体的に考えることができた。NGOの印象が変わった。(学生)
- ③相談者の声: 事業展開に関して連携できそうなNGOを紹介いただき、担当者と直接話すことができ、今後の連携について更に打合せをすることを約束できた。(企業関係者)

7 写真

	
相談対応ブースの様子	ホールの様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
開発教育協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：**よこはま国際フォーラム2020
- 企画実施概要：**
- ①企画内容
神奈川県内で活動する団体を中心に、NGOや国際協力、開発教育や国際理解教育に関する団体が一堂に会する「よこはま国際フォーラム2020」において、ワークショップ「スマホから考える世界・わたし・SDGs」を実施する。
 - ②目的
 - ・スマホを通じて、グローバルな課題に目を向け、その現状や原因などを理解し、ワークショップ参加者が自分にできる取り組みを考えて行動することを促す。
 - ・NGOやODA活動、国際協力、開発教育や国際理解教育の教材や資料の紹介
 - ・開発教育、国際協力の実施に向けた相談への対応
 - ③対象者および参加予定人数
国際協力・国際交流・多文化共生に関心のある市民、学生等 のべ来場者1800人(依頼ワークショップ受講者約30名)

- 2 出張者氏名** 岩岡由季子
- 3 依頼元／主催団体名** よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会事務局
- 4 実施日時** 令和二年2月15日 (土) 11:00～12:50(2コマ)
- 5 実施場所** JICA横浜(神奈川県横浜市中区新港2丁目3-1)
- 6 実施報告**
- ・新型コロナウイルスの影響が懸念されたが、2日間合わせて延べ約1300名の参加があった。当会のワークショップには、学校関係者や学生、市民団体、企業の方など12名の参加があった。
 - ・ワークショップは、開発教育に関心のある方からテーマに関心があって参加した方まで様々であったが、グローバル問題とスマホのつながりをそれぞれじっくり考え、議論を深めることができた。開発教育や教材活用に関する相談も複数あった。

7 写真

	
ワークショップの様子①	ワークショップの様子②

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年6月4日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名: 「第10回はままつグローバルフェア」における相談対応サービス
- 企画実施概要:
- ①実施内容
静岡県浜松市で開催される「第10回はままつグローバルフェア」において、来場者および出展団体への相談対応業務を行った。
 - ②対象者および参加人数
来場者 約4,000人

2 出張者氏名 西坂 幸

3 依頼元／主催団体名 公益財団法人 浜松国際交流協会

4 実施予定日時 令和2年2月9日 (日) 10時00分 ～ 17時00分

5 実施場所 クリエイト浜松 (住所: 静岡県浜松市中区)

6 実施報告
国際協力やボランティアに関心のある方の集まるイベントにて相談員として出展を行った。新型コロナウイルスの影響もあり前半は来場者が少ないという声も上がっていたが、午後になると多くの方でにぎわい、相談員ブースにも学生から退職者まで相談にお越しただけた。就職やボランティアに関する相談が多かったが、中には、紛争地での活動について関心をお持ちの方もおり、当団体の事業地を例に挙げ、活動内容とともにODAがどのように使われているか、という点なども交えてお伝えした。都心部と違い、なかなか国際協力について質問や相談を直接する機会の少ない地域ではあるものの、関心の高い方や相談ニーズは多い事がうかがえた。こうした地方の一般市民に対して、NGOの活動やODAについてお伝えすることができたが、同時に相談員制度の認知度をより一層高めていく必要性を感じた。

7 写真



会場内でNGO相談員のチラシを配布したことによりブースに来る相談者の数が増加した。主な相談は就職相談だったが、NGOの活動内容やODAについて紹介すると興味深く、いくつか質問を頂いた。

(写真1)



学生および社会人からの就職・ボランティアに関する相談を受け付けた。「なんとなく国際協力に興味がある」という方に対してより具体的に想像していただけるように実際の経験をもとにお伝えした。

(写真2)

以上

令和2年6月8日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

恵那市立中野方小学校における講演会

企画実施概要:

①実施内容

恵那市立中野方小学校の「社会科」の授業において、「世界各地で日本が行っている国際協力」というテーマで講演を行う。

②対象者および参加人数

恵那市立中野方小学校6年生の児童17名、教諭1名

2 出張者氏名

認定NPO法人アイキャン 西坂幸

3 依頼元／主催団体名

恵那市立中野方小学校

4 実施予定日時

令和2年2月12日 (水)

10:40～11:25

5 実施場所

恵那市立中野方小学校(住所:恵那市中野方町2353番地1)

6 実施報告

小学校6年生を対象に世界各地で行っているNGOの活動として、路上の子どもたちと紛争地域の子どもたちについて講演を行った。参加した児童からは「勉強をしたくないと思ってしまう事があったけど、これからは感謝して頑張りたい」「自分と同じくらいの年の子どもが戦争に巻き込まれている事がショックだった」「将来、自分も人を助ける仕事に就きたいと思った」など、世界の同世代の子どもたちの事を真剣に考え、自分にできる事を行動に起こしたいという意欲が伺えた。また、NGOの仕事における困難ややりがいについて質問を頂き、初めて聞く世界の現状やNGOの活動への関心を喚起する事ができた。

7 写真



児童たちは、初めて聞く世界の現状やNGOの活動に高い関心を持ち、質疑応答ではNGOという仕事の具体的な業務内容についての質問も挙がった。

(写真1)



実際の海外経験を直に聞く事で、「人を助ける仕事がしたい」「自分にできるボランティアをしたい」という声がきかれた。

(写真2)

以上

令和2年3月7日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 開発教育・国際理解教育実践報告フォーラム2020

企画実施概要： ①実施内容：「企画内容：愛知、岐阜、三重、静岡の東海4県の教育実践指導者を対象にした研修の実践報告フォーラムにて、チラシやパンフレット等NGO情報を配架。来場者に対して、活動紹介と相談対応を行った。
②対象者および参加人数：教師および教育関連事業実践者、教育の関心のある一般来場者約130名

2 出張者氏名 堀川絵美

3 依頼元／主催団体名 独立行政法人 国際協力機構 中部センター（JICA中部）

4 実施予定日時 令和2年2月16日（日） 10:00 ～ 15:30

5 実施場所 JICA中部なごや地球ひろば（住所：愛知県名古屋市）

6 実施報告 <相談内容（一部）>
・NGOがどのような活動をしているか、具体的に知りたい。
・スタディツアーに関心がある生徒がいる。訪問国について詳しく聞きたい。
・途上国の教育現場を見てみたい。スタディツアーではどのような訪問先、活動があるのか。内容を知りたい。
・開発教育を授業で実践している。NGO職員に講師として来てもらうことはできるか。
・開発教育のプログラムの作り方を学びたい。

7 写真



会場の様子



ブースの様子

（写真1）

（写真2）

以上

2020年3月5日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：ワン・ワールド・フェスティバル ステージプログラム パネルトーク
「ODAのNGO/NPO支援制度を組織基盤強化につなげよう！」

企画実施概要：・西日本最大の国際協カイベントであるワンワールドフェスティバルの
ステージプログラムで、外務省、JICAの職員からODAのNGO支援制度
を紹介いただき、制度を活用しているNGOと一緒に制度に関するパネ
ルトークを展開する。
・N連の制度改革で最大15%まで管理費を計上できることになったが、
広報の強化や人材の育成につなげるべく、組織基盤強化を図るため
の事業計画や予算の配分について、NGO側からも事例を紹介いただ
く。ODAを活用しながらも、それだけに頼らない組織運営の在り方を考
え、中・長期的にNGOの組織基盤強化・自主財源の強化につなげる発
想を促す。

2 出張者氏名 高橋美和子・佐野光平

3 依頼元／主催団体名 外務省

4 実施予定日時 令和2年 2月1日 (土) ステージ:16:00～16:40
※事前打合:14:30～16:00

5 実施場所 カンテレ扇町スクエア・北区民センター・扇町公園(大阪市北区扇町)

6 実施報告
・国際協力NGOの職員やインターン、N連やJICAなどのスキームの申
請を検討している団体、JICA職員を中心に35名が参加した。
・終了後、今回のN連改革に伴う管理費増額について2つの団体から
質問を受け付け対応した。また、組織基盤強化につなげることをN連申
請段階ですでに団体の戦略として事業計画に盛り込む発想、
インターンの活用など、登壇いただいたテラルネッサンスの事例が参
考になったとの声を多くいただいた。
・外務省職員の方から直接N連改革の話をきいたことで、ODAのNGO
支援制度を身近に感じる事ができた、貴重な機会になったとの反応
があった。

7 写真



パネルトークを展開した外務省石井さん、テラル
ネッサンス栗田さん、JICA関西田中さん

(写真1)



当日ステージの様子

(写真2)

以上

令和2年6月4日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** ワン・ワールド・フェスティバル2019での相談対応
- 企画実施概要:** 2月1-2日に開催されるワンワールドフェスティバルにて、NGO相談員による相談コーナーを設け、来場者に個別相談に応じ、国際協力に関する情報を提供する。

2 出張者氏名

以下の通り、8団体13名の相談員が対応した

- ・アイキャン(三矢)
- ・AMDA社会開発機構(山上)
- ・開発教育協会(伊藤)
- ・日本国際協力NGOセンター(伊藤)
- ・日本国際ボランティアセンター(今井)
- ・日本国際民間協力会(大豊/北垣)
- ・PHD協会(中村/古寺)
- ・関西NGO協議会(松岡/岩根/佐野/高橋)

3 依頼元／主催団体名

外務省民間援助連携室/ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会

4 実施予定日時

令和2年2月1日(土)・2日(日) 10:00～17:00 (初日8:30から設営準備)

5 実施場所

カンテレ扇町スクエア(大阪市北区扇町)

6 実施報告

・ワン・ワールド・フェスティバルの会場にて、学生、教員、NGO関係者をはじめ、広く一般の方から146件の相談(相談者は96人)を受け付け、近畿ブロック及び全国のNGO相談員に協力いただきシフト制で対応した。

・本分野のキャリア形成、就職をはじめとする相談から、NGO関係者からはファンドレイジングやODAスキームの種類・活用のメリット等に関する質問・相談がなされた。また、関西の高校教員からは、「国際協力」「多文化共生」をテーマとした通年の授業プログラム実施について相談があり近畿ブロックの相談員が対応した。

・相談員チラシ配布等を通して、相談員制度の広報、制度活用の普及を促した。

7 写真



社会人からの相談に対応するアイキャン、関西NGO協議会の相談員



学生の相談に対応するAMDA、NICCOの相談員
以上

令和2年 3月 4日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：国際協力についての講演及び交流

企画実施概要：①実施内容：当会NGO相談員の山本とアジアからの研修生3名で訪問した。NGO相談員が国際協力についての講演を、また研修生が出身地域の紹介やそれらの地域が抱える問題と解決に向けたアプローチについて説明した。また研修生たちと参加者の質疑応答の時間を設けた。

②対象者および参加人数：
シルバーカレッジ国際協力友の会 メンバー 40名

2 出張者氏名 山本 健太郎

3 依頼元／主催団体名 シルバーカレッジ 国際協力友の会

4 実施予定日時 令和2年2月20日 (木) 14:45 ～ 16:30

5 実施場所 神戸市シルバーカレッジ（兵庫県神戸市北区しあわせの村1-16）

6 実施報告 同校の国際文化クラス受講生を対象に国際協力の概要についてお話しした。その後、当会の研修生3名（インドネシア、ネパール、ミャンマー）がそれぞれの出身地域の紹介及び地域が抱える課題とその解決のための取り組みについてお話しした。また講演の後半には、参加者からの質問も受け付け、研修生と積極的な意見交換と交流の場とした。

研修生の生活地域においては、保健衛生や学校教育において課題があり、それによって引き起こされる村の人たちの健康問題、子どもたちの識字率、進学率の低さなどについて言及し、これらの村の課題に対して、研修生たちがどのようなアプローチをしていきたいかを言及した。課題克服に向けて、研修生を交えて、村の女性グループ（非識字者が9割）への読み書き指導や学校の図書館プロジェクトなど具体的な活動内容を説明した。

7 写真



研修生を交えて、村の課題について説明している



参加者との質疑応答の様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年3月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
AMDА社会開発機構

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：岩国市立愛宕小学校

企画実施概要：途上国の現状と日本が関わる国際協力についての講演

2 出張者氏名 山上正道

3 依頼元／主催団体名 岩国市立愛宕小学校 担当：宮本祥恵 教諭

4 実施予定日時 令和2年2月13日（木） 14:05 ～ 14:50

5 実施場所 岩国市立愛宕小学校（山口県岩国市尾津町1丁目1-11）

6 実施報告

途上国の子どもたちの現状などもふまえ、NGOを含めた日本の国際貢献の活動、SDGsの目標達成の取り組みについて講演を行った。日本が行う国際協力やNGO/NPO活動については当団体の活動から実例に基づいた具体的な事例を紹介した。担当教諭からは、子どもたちが机上ではできない深い学習ができた、とのコメントをいただいた。
子どもたちの視野が広がり、世界に目を向けるきっかけとなり、今後につながることを期待したい。

7 写真



開発途上国に関するクイズに回答する生徒

（写真1）



紐を使用し、世界のお金の使われ方を示している様子

（写真2）

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

青年海外協力隊大阪府OB・OG会主催の関西圏の青年海外協力隊OB・OGの約40名向けの講演会において、国際協力、海外国内の災害緊急支援等の実情と課題について講演をする。

企画実施概要:

①実施内容

青年海外協力隊大阪府OB・OG会主催の関西圏の青年海外協力隊OB・OGの約40名向けの講演会において、国際協力、海外国内の災害緊急支援等の実情と課題について講演をした。

②対象者および参加人数

関西圏の青年海外協力隊OB・OGの約40名

2 出張者氏名

会沢裕貴

3 依頼元／主催団体名

青年海外協力隊大阪府OB・OG会 大平 緑(会長)

4 実施日時

2020/2/16 (日) 15:15～16:15

5 実施場所

正雀市民ルーム(住所:大阪府摂津市正雀本町1丁目11番1号)

6 実施報告

青年海外協力隊のOBOGに対して、NGOの災害支援活動と自分たちができる備えについて講演を行った。当会の支援紹介を通して、災害支援での国際NGOの活動を説明した。また、政府資金や寄付など活動のための資金調達方法や組織運営体制についても説明。以下、参加者のコメントを抜粋。

- ・自分の家と職場のハザードマップを確認しておこうと思った
- ・避難場所を確認しておこうと思った
- ・スマートサプライの活用を検討しようと思う
- ・自分がボランティアにはいる際は、保険の事前加入やボランティアに入る時期を見極めたい
- ・国内で発災した場合、外国人など情報取得が難しい方々に対して、協力隊OBOG会でもできる支援を行っていこうと思う

7 写真

	
災害支援の活動について説明する様子	会場からの質問に答える様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年2月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 福岡市役所ロビーにおけるパネル展での相談ブース運営

企画実施概要： ①実施内容
NGO・国際協力への関心層の拡大、関心を持った方が深く関わることに
対しての支援を行うため、福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)
が実施するパネル展においてNGO・国際協力についてのパネルを設
置。詳細の説明およびNGO相談を受け付けるブース運営を行う。
②対象者および参加人数
市役所を利用する一般の方。FUKU-NETに加盟し国際協力への関心
を持つ団体。
会場ロビー利用者数(平日:6,157人/日、休日:3,818人/日 ※平成
31年2月発表時)

2 出張者氏名 原田君子 / 住本大輔 / 山田英行

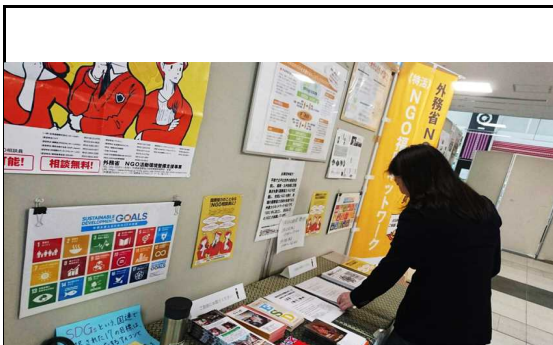
3 依頼元／主催団体名 福岡国際関係団体連絡会 (FUKU-NET)

4 実施日時 2020年2月7日～13日 13:00～17:00

5 実施場所 福岡市役所1Fロビー(福岡市中央区天神1丁目8番1号)

6 実施報告 福岡市役所の一階多目的スペースにて、国際協力についてのパネル
展が開催され、福岡市の国際協力団体(計16団体)が集まり、パネル
やチラシで各団体の紹介を行った。NGO福岡ネットワークはパネル展
の実施に合わせて、NGO相談員出張相談受付ブースを設置。国際協
力の情報の補足説明などを行った。NGOの中間支援組織の役割や、
SDGsについての質問が寄せられた。

7 写真



実施中の様子



パネル展全体の様子

(写真1)

(写真2)

以上